

保幼小中一貫教育だより ～豊かな自然と豊かな人材で豊かなこどもを育てる～



# 豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第123号 R6. 9. 3

## 保幼小中一貫教育

### ～豊能町夏季教職員研修 保育公開（吉川保育所）～

7月23日に吉川保育所にて豊能町夏季教職員研修の一環として、「公開保育」が実施されました。町内保幼小中学校の教職員が参加しました。

はじめに2歳児クラスの保育を参観しました。その後、教職員と参観者を交えて保育の様子について意見交流を行いました。そして、小グループに分かれ、「保育所保育指針（厚生労働省）」の定める「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」について、本日の保育がどのような場面で当てはまっていたのかについて、それぞれの気づきを付箋に貼り、意見を出し合いながら検証しました。

参加した教職員に新たな気づきがあり、今後の保幼小中一貫教育の推進に寄与する実り多き研修会でした。



保育の様子を見学する参観者



保育参観後の意見交換



小グループに分かれての協議

### ～参加者の感想を紹介します～

- ・危険な行動を止めるのではなく、あそびに発展させようとプラスの考えをもつことで、子どもも大人も楽しみながらすごせていました。（就学前：教職員）
- ・個が主体となるよう一人ひとりに寄り沿った指導をしていきたいと思いました。（小学校：教職員）
- ・子どもの興味関心を考え、コーナーごとに自分で考えて遊べるように工夫されていました。走り回る、大きな声を出すなど普通のクラスの課題を解決できるよう、担任の工夫があり、落ち着いて活動していました。子どものつぶやき、声かけをキャッチして、一人ひとり対応されていました。「貸して」「いいよ」などの子ども間のやりとりを大切にされていました。（中学校：教職員）

## とよのを知ろう とよのを学ぼう ② 「キャリア教育」の実践

「デイキャンプ たのしかったよ！」（認定こども園豊能町立ふたば園）

ふたば園では、毎年7月に5歳児のみの活動として、「デイキャンプ」を実施しています。昨年度からは、子どもたち自身の「きづき・はっけん」や「やりたい!」「どきどき」「わくわく」する気持ちに重点を置き、子どもたちが主体的に対話的に取り組み、企画・立案・運営をしています。1か月以上も前から、どんなことをやりたいか、どうすれば楽しくなるか、アイデアを出し合います。「バーベキューしたい」「花火もしたいよな」「消防署に言うのかなあかん」「おまつりやりたい」「おぼけやしきがいいなあ」など友だちの考えを聞き自分の意見も言いながらより楽しい活動にしたい、と思っはいますが、「りんごあめ作りたい」「りんごきらいや!」などと話し合いで折り合いがつかなくなったり、トラブルになったりすることもありました。いろいろ試行錯誤し、なんとか折り合いをつけて楽しみ、達成感や満足感を得られとても素敵な表情の子どもたちでした。「次は運動会!」と新しい目標を持っています。デイキャンプを通して、**かかわる力**「人と協力すること」・**いかす力**「聞いたり話したり調べたりしたことを使って、次の活動について考える」・**うごく力**「最後までやり通す・自ら積極的にかかわる」力がつき、「学力」や「人間関係力」が育まれたと考えています。今後も日々の保育の中で、就学前ならではの心を揺さぶる体験をたくさん重ね、さまざまな力をつけて0歳から15歳までを見通した系統的、継続的な取り組みを進めていきます。



## 令和6年度 第4回豊能町教育委員会会議（7月定例会）

7月25日に開催された教育委員会会議において、令和7年度から豊能町内の中学校で使用される教科用図書が採択されました。

### 採択に関する資料の公表について

教科用図書の採択に関する調査資料等につきましては、下記にてご覧いただけます。なお、町ホームページでも公表しています。

■場所：豊能町役場 行政情報コーナー（豊能町余野414-1）

吉川支所 閲覧コーナー（豊能町東ときわ台1-2-3）

■時間：午前9時～午後5時30分（土・日・祝日及び閉庁時間帯を除きます）

